



MASTER & DYNAMIC

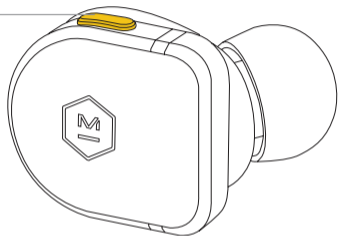
ユーザーマニュアル — MW08
アクティブノイズキャンセリング:
真のワイヤレスイヤホン

Master & Dynamic はニューヨーク市を拠点とし、技術的に洗練されたサウンドツールの構築に深い情熱を傾ける高級オーディオ企業です。当社の製品は最高級の素材のみを用いたモダンで時代を超越したデザインで、耐久性が高く、美しさ、強さ、快適さ、そして優れた音を完璧に調和させています。

決して同じ音には聞こえません。

コントロール

マルチファンクションボタン



マルチファンクションボタン

1X:一時停止/再生

2X:早送り

3X:早戻し

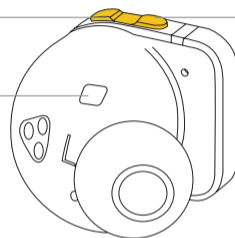
長押し: マルチファンクションボタンを押し続けると音声アシスタントがオンになります

押す: マルチファンクションボタンを押して電話に出ます
(接続したデバイスからも電話に出られます)

音量-

音量+

近接センサー



音量+

音量+を押し続けると「アンビエントリスニング」モードがオン/オフになります
(アンビエントリスニングについては6ページをご覧ください)

音量-

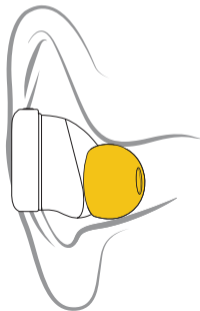
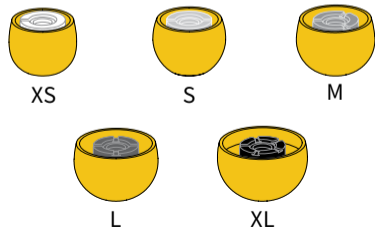
音量-を押し続けると「アクティブノイズキャンセリング」がオン/オフになります
(アクティブノイズキャンセリングについては6ページをご覧ください)

フィット

イヤホンお買い上げ時にはミディアム (M) サイズのイヤーチップがついています。

ご自分の耳に合うイヤーチップを選んでください。カスタムラウンドイヤーチップは楕円形のノズルと合わせて設計され、優れたフィットをお届けします。イヤーチップが取り付けにくい場合は、イヤーチップを押しつぶしてノズルと方向を合わせ、イヤーチップをノズルに押し当てて取り付けてください。

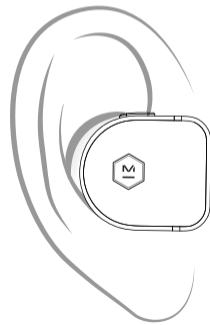
イヤーチップの種類



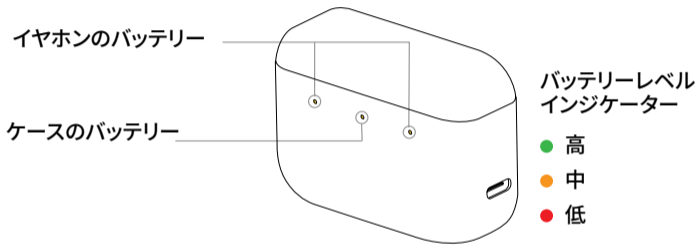
イヤホンは次のように耳に入れてください。

ステップ1: イヤホンを前向きに傾けます。このときイヤーチップは外耳道に軽く乗せてください。

ステップ2: 外耳道にイヤーチップがぴったりと収まるまでイヤホンを回します。



充電



イヤホンは15分間で50%、45分間で100%まで充電されます。ケースは15分間で50%、60分間で100%まで充電されます。

イヤホンには最大10時間分充電できます。充電ケースにはさらにイヤホン30時間分の電力が蓄えられます。イヤホンをお使いでない場合は、ケース内に入れておかれるようにお勧めします。こうすることで使用開始時に最大まで充電されているようにできます。

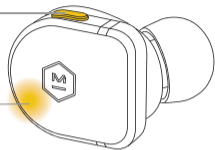
イヤホンお買い上げ時には、バッテリーはある程度充電されています。フタを開け閉めするとバッテリーの充電状態が表示されます。インジケータが緑の場合はバッテリーが70~100%、琥珀色は30~69%、赤は1~29%であることを示します。真ん中のバッテリーが赤く点滅するか、光らない場合、ケースのバッテリーは空になっています。

ケースに充電するには、USB-Cケーブルをケースの右側に接続し、もう片方を電源に接続します。USB-C対応の電源がない場合は、同梱のUSB-C~USB-Aアダプターを用いてUSB-A対応の電源をお使いいただけます。

ケースに充電中はケースとイヤホンのバッテリー状態が表示されます。

ペアリング

マルチファンクションボタン



インジケーターが点滅

ケースから最初に2つのイヤホンを取り出すと、ペアリングモードに入ります。

ステップ1:イヤホンを接続するデバイスでBluetoothメニューを開きます。

ステップ2:M&D MW08を選択します。

ステップ3:(オプション) M&D Connectアプリをダウンロードし、開きます。

ペアリングモードを手動でオンにするには、マルチファンクションボタンを、インジケーターが点滅し、ペアリング音が聞こえるまで押し続けてください。

注:すでにデバイスに接続されている場合は、イヤホンを耳から抜いて、音声アシスタントがオンになるのを避けてください。

イヤホンはひとつずつBluetoothデバイスに接続できます。

モバイルアプリ

アプリ、M&D Connectをダウンロードし、Master & Dynamic製品を存分にお楽しみください。



M&D CONNECTアプリの使用
アクセス方法

- ファームウェアの更新
- カスタム設定
- クイックスタートガイド
- 製品サポート



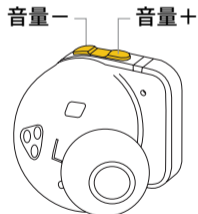
M&D Connectアプリ使用前に、MW08をスマホのBluetoothメニュー設定から接続しておいてください。

ワールドボリュームモード

MW08には2つのワールドボリュームモードがあり、ユーザーの周囲の音量をコントロールできます。

- 1.ハイブリッドアクティブノイズキャンセリング(ANC)で、どのような環境でもクリアで広がりのあるサウンド。
- 2.アンビエントリスニングモードで周囲の音にも気配りを。

- ANCのオン/オフ切り替えは音量-を押します
- アンビエントリスニングのオン/オフ切り替えは音量+を押します



M&D Connectアプリをダウンロード、インストールし、さらに多くのANCモードとアンビエントリスニングモードを活用し、デフォルトのワールドボリューム設定を選択してください。

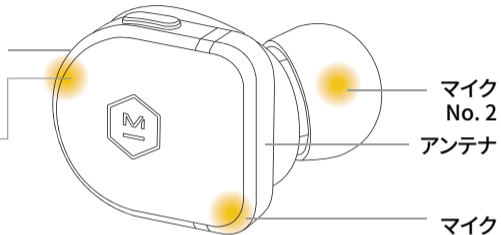
独自の風よけ
メッシュ

マイク
No. 1

マイク
No. 2

アンテナ

マイク
No. 3



各イヤホンにはマイクが3つあり、イヤホンひとつでも聴く、または話すことができます。

イヤホンはひとつずつBluetoothデバイスに接続できます。

メンテナンスとお手入れ

一時停止、再生機能を制御する近接センサーは、長期間のご使用で汚れ、このため性能が悪化することがあります。この場合、綿棒を湿らせてセンサーを軽く拭いてください。

イヤホンのセラミックのクリーニングには、マイクロファイバー布をお使いください。この製品にはアルコールなどの洗浄剤の使用は避けてください。イヤホンを落とす、その上に座る、水や湿気、極端な温度にさらすことは避けてください。このイヤホンはIPX5級の耐水性があります。充電ケースはIPX4級の耐水性があります。

イヤホンを使わないときは、ケース内に入れておくことをお勧めします。損傷を避けるため、キャンバス布のケースには、イヤホンの他には何も入れないでください。

温度範囲

この製品は温度範囲-20℃～45℃でのみ使用、保管してください。バッテリーの充電は5℃～40℃の温度範囲でのみ行ってください。

トラブルシューティング

イヤホンとデバイスのペアリングができない場合

- デバイスとペアリングする際は、イヤホンが両方とも充電ケースの外にあるようにしてください。イヤホンを充電ケースの中に入れ、10秒間完全にフタを閉じて電源をオフ、オンにしてください。イヤホンをケースから取り出し、ペアリングモードに入ったことを確認します。右のイヤホンでインジケータがゆっくりと点滅します。
- 音源のデバイスでBluetoothをオフにしてから再びオンにします。イヤホンとペアリングされている他のデバイスでBluetoothをオフにします。
- デバイスから“M&D MW08”イヤホンへの接続を削除してから、イヤホンをペアリングモードに入れて再びペアリングします。
- Bluetoothデバイスで“M&D MW08”が選択されていることを確認します。

接続したBluetoothデバイスからの音がしない、または音質が悪い

- デバイスをイヤホンに近づけてみます。イヤホンと音源デバイスの間の物理的な距離が遠いと、信号が弱くなります。
- 他の音楽アプリか、別のトラックを試してみます。
- 別のオーディオデバイスを試してみます。

充電ケースのバッテリーレベルインジケータが光らない

- ケースが充電されていることを確認します。ケースを充電するにはUSB-Cケーブルをケースの背面に差し込み、ケーブルのもう片端を電源に差し込みます。USB-C対応の電源がなければ、同梱のUSB-C～USB-Aアダプターを用いてUSB-A対応の電源を使えます。
- イヤホンが充電ケースの中に正しく入っていることを確認します。左のイヤホンは“L”に、右のイヤホンは“R”に置いてください。
- イヤホンの充電パッドとケースの充電ピンに汚れがないことを確認します。

充電パッドと充電ピンは湿らせた綿棒または布で軽く拭いてください。

注：イヤホンのバッテリーにまだ電気が残っており、充電ケースのバッテリーが空な場合、イヤホンをケースの中に入れてフタを閉めてもインジケータが光ってバッテリーレベルを表示することはありません。

耳から出し入れしても再生/一時停止が働かない

- 再生/一時停止機能を制御する近接センサーは長期間の使用によって汚れ、このため性能に影響がでることがあります。この場合、湿らせた綿棒または布でセンサーを軽く拭いてください。

出荷時の状態にリセット

イヤホンが互いにペアではなくなってしまった場合は、次の手順で工場出荷時の状態にリセットしてください。

1. 左のイヤホンをケースから出します(右のイヤホンはケースの中に入れておきます)。
2. 左のイヤホンの音量+ボタンを素早く6回押し、6回目は左のイヤホンから“factory reset”(工場出荷時にリセット)が聞こえるまで長押しします。
3. 右のイヤホンをケースから取り出します。
4. 右のイヤホンのマルチファンクションボタンをすばやく6回押し、6回目は右のイヤホンから“factory reset”が聞こえるまで長押しします。
5. 両方のイヤホンを互いに近くに置きます。LEDの点滅が終わり、Bluetoothデバイスとのペアリングができたときのようにゆっくりと明暗を繰り返します。

M&D CONNECTアプリがデバイスで動作しない

- まず、お使いのモバイルデバイスが M&D Connectの最小システム要件を満たしていることを確認します。詳細はお使いのモバイルデバイスのアプリストアでご覧ください。お使いのモバイルデバイスが最小要件を満たす場合、M&D Connectアプリをいったんアンインストールしてから、インストールし直してください。

アプリがイヤホンに接続できない

- アプリを開いて設定する前にBluetoothメニューでイヤホンに接続します。

聴覚を守るために

人間の聴力には素晴らしいものがあります。耳を貴重なツールとして扱うと、耳は並外れたデータを、そして一生涯素晴らしい音響体験をもたらしてくれます。

一般的には、「大きすぎる音や、あまりに長時間」聴かずに、自身の耳をいたわってください。耳鳴り、不快感、高い周波数の音や高音に敏感になる、などは耳が限界に達していることを耳が告げてくれている徴候で、取り返しの付かない損傷を受けている場合があります。

目安としては、好みのリスニング音量と思われるものを見つけ、それから10%以上音量を小さく調整するようにしてください。驚くべきことに、耳は時間が経つと少し低めの音量に慣れてきて、最初は静か過ぎると思っても、長時間のリスニングでは丁度良い音量と感じます。

NIHL

NIHL (音響性外傷) は、1 回だけ、また長期にわたって過度の音量 (デシベル、dB) への暴露で引き起こされる障害で、予防可能です。敏感な内耳構造への害は不可逆的で、すべての年齢層の人々が影響を受ける可能性があります。損傷は、1 回の暴露、または徐々に長期間にわたって起こります。爆発などの強烈な「衝撃」音への1回限りの暴露、または85デシベルを超える大きな音への継続的暴露により、損傷が起こり得ます。NIHL の徴候には、難聴や耳鳴り、常に音が鳴り響く、ブーンという音がする、轟音を感じるなどがあります。NIDCD (米国立聴覚障害研究所) の簡単な目安では、「あまりにも大きく、近く、または長すぎる音への暴露を避けてください」としています。日常生活の音のレベルとしては、次を参考にしてください: 冷蔵庫の音 (45 デシベル)、通常の会話 (60 dB)、町中の交通 (85 デシベル)、オートバイ (95 dB)、最大音量のMP3プレイヤー (105 dB)、サイレン (120 dB)、爆竹 (150 dB)。

保証

Master & Dynamic は、当社のウェブサイトまたは認定 Master & Dynamic 小売業者または再販業者からの最初の購入日から 1 年間、材料または製造上の欠陥に対してこの製品を保証します。また、バッテリーは、元の購入日から 1 年間適切に機能することを保証します。Master & Dynamic はバッテリーの欠陥は限定的保証の対象としていますが、通常の使用によるバッテリーの劣化は対象外です。

保証期間内に返品された場合、Master & Dynamic は、欠陥のある製品を修理するか、返品された製品と同じ仕様の修理または再生された製品と交換します。この限定保証は、商品性または特定の目的への適合性の黙示的保証を含むがこれに限定されることなく、明示的または黙示的を問わずすべての他の保証に代わるものです。

Master&Dynamic は、本製品の使用に起因する直接的、間接的、偶発的または派生的損害または費用 (本製品の外観の使用に関連する損害を含む) についていかなる種類の責任も負わないものとします。

Master & Dynamic の限定保証は、ドライバーの損傷、通常の使用によるバッテリーの劣化、コードの切断、ジャックの折れ曲がり、製品の外観の損傷などの通常の劣化や、紛失、盗難は対象外です。イヤーチップ、イヤープッド、ケーブルなど交換可能部品の通常の使用による損傷は、材料や製造上の欠陥により誤動作が発生した場合にのみ、保証期間中に 1 回のみ交換いたします。

当社のウェブサイトまたは認定小売店または再販業者から購入された製品の保証適用には、シリアル番号とご購入証明が必要です。このポリシーは、贈り物として受け取られた製品にも適用されます。

バッテリーの欠陥により製品を交換する必要がある場合は、交換した製品は性能と信頼性において新品または新品と同等のものになります。製品を分解したり、過度の湿気にさらした場合、この保証は無効となります。保証期間内に製品に欠陥があると思われる場合は、support@masterdynamic.com までご連絡ください。弊社へのメッセージには、製品のシリアル番号、購入証明、電話番号、返送先の住所を記載してください。シリアル番号、購入証明と保証が有効であれば、返品承認と返品方法をご案内させていただきます。なお、代替品の発送は、当社が不良品を受領した後にのみ行われますのでご注意ください。製品保証に関するご質問は、Master&Dynamic サポート (support@masterdynamic.com) にお問い合わせください。

高周波暴露へのコンプライアンス

- この機器は非管理環境に対して米国FCC/ISEDが定める放射暴露限度に準拠しています。エンドユーザーは具体的な操作説明に従って、高周波暴露コンプライアンスを満たすようにしてください。この送信機は、他のアンテナや送信機と同じ場所に置いたり、合わせて使用したりしないでください。
- このポータブル機器はISEDの規定する電波への暴露に対する要件を満たすように作られています。これらの要件は、身体組織1グラム平均のSAR限度値は1.6W/kgとなります。身体に適切に着用した製品の認定過程で、この規格の元で報告された最高のSAR値です。